

タイトル

サブタイトル

名前

2024/10/2

所属

最初のスライド

スライドタイトルは,

```
1 == 最初のスライド
```

のように記述することで, 設定することができます.

スライドの中身はそのまま書き進めることができますが,

```
1 #slide[  
2   スライドの中身  
3 ]
```

のように記述するのが望ましいです.

数式

数式も、普通の文章と同様に

```
1 $ integral sin x d x = - cos x + C $
```

$$\int \sin x dx = -\cos x + C$$

と表示されます. より強調するには, `eq_box` 関数を利用して,

```
1 $ y = #box(fill: rgb(100, 200, 200), outset:(x: 3pt, y: 5pt), radius: 4pt)
  [$a x^2$] + b x + c $
```

とすれば,

$$y = ax^2 + bx + c$$

のようになります.

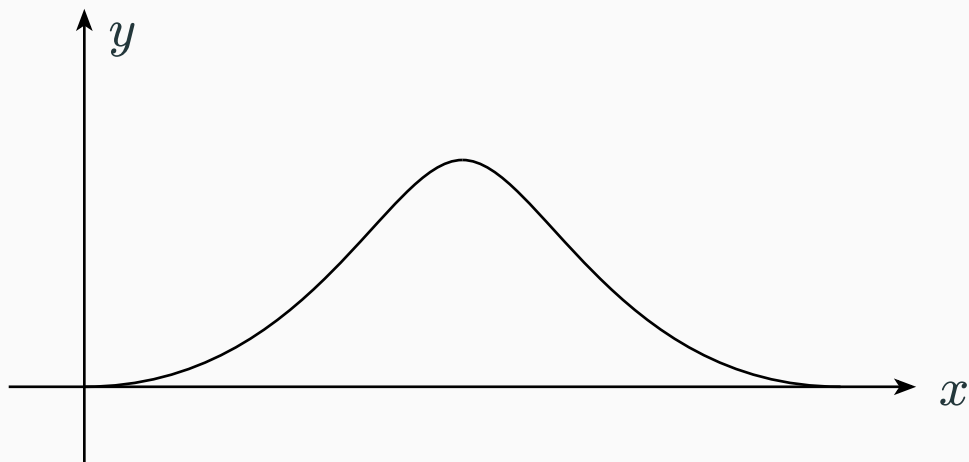
CeTZ による図の挿入

図を挿入するには, CeTZ を利用します. 例えば,

```
1 #cetz.canvas({
2     import cetz.draw: *
3     line((-1,0),(11,0), mark: (end: "stealth"), fill: black)
4     line((0,-1),(0,5), mark: (end: "stealth"), fill: black)
5     bezier((0,0), (5,3), (3,0), (4,3))
6     bezier((5,3), (10,0), (6,3), (7,0))
7     content((11.5,0), $x$)
8     content((0.5,4.75), $y$)
9 })
```

のように記述すれば, 次のスライドのように表示されます.

CeTZ による図の挿入

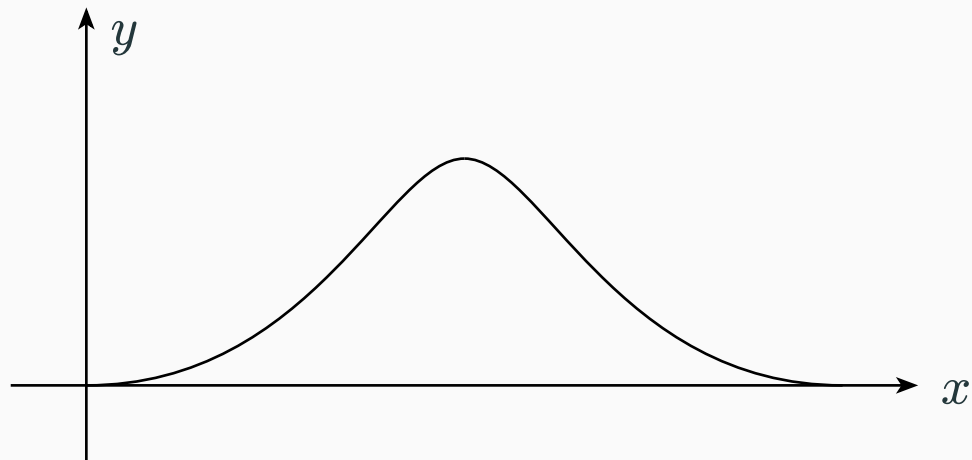


表示を中央揃えにするには, `align` 関数を利用します.

```
1 #align(center)[  
2   <CeTZ の中身>  
3 ]
```

これによって, 次のスライドのように中央揃えになります.

CeTZ による図の挿入

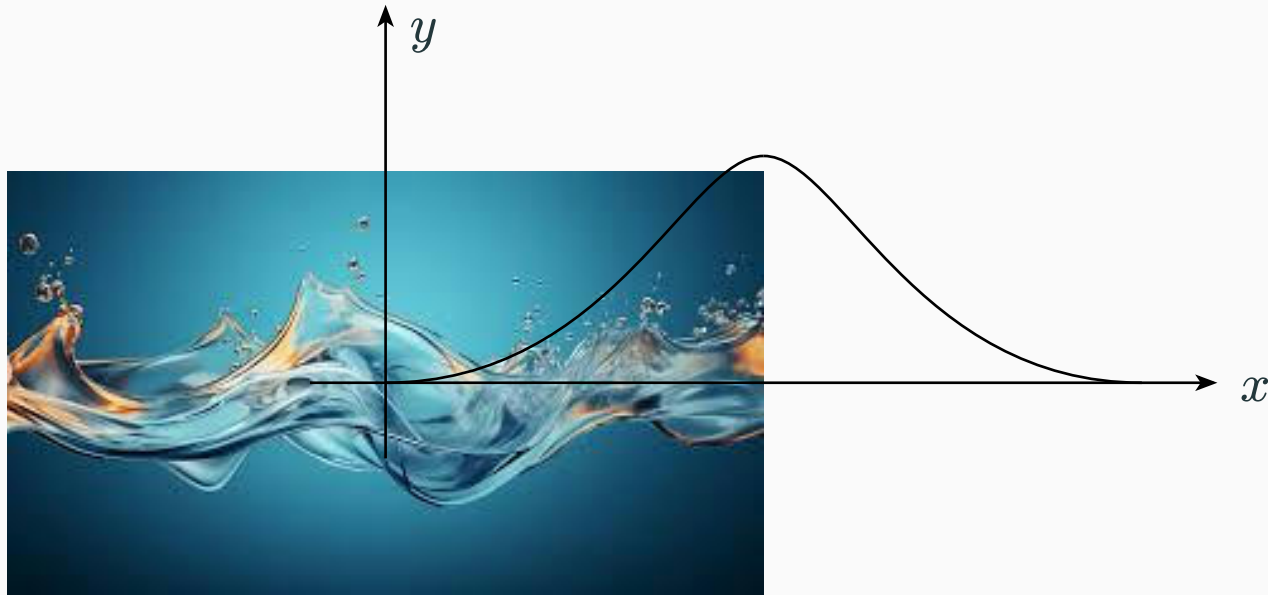


図中に画像を挿入するには, `content` を利用して, `image` 関数を挿入します.

```
1 content((0,0), image("figure/water.jpg", width: 10cm))
```

CeTZ による図の挿入

このようにすることで、以下のように表示できます.



表示の分割

単純に 2 分割以上をするには, `columns` 関数を利用します.

```
1 #columns(2)[  
2     1 行目のテキスト  
3     #colbreak()  
4     2 行目のテキスト  
5 ]
```

これによって, 次のように記述されます.

1 行目のテキスト

2 行目のテキスト

`columns` は領域を半分ずつ分割します.

表示の分割

左右非対称の場合、例えば 70%, 30% の割合にしたい場合、`grid` 関数が利用できます。

```
1 #grid(  
2     columns: (70%, 30%),  
3     [1 行目のテキスト],  
4     [2 行目のテキスト]  
5 )
```

1 行目のテキスト

2 行目のテキスト

Appendix と参考文献の書き方

```
1 #show: appendix
```

をスライド間に記述すれば、スライド番号のカウントがそこまですなります。
参考文献は、@tsukahara2023 とすれば、(塚原 2023) のように表示され、参考文献が表示されます。

参考文献

塚原隆裕. 2023. 私の「ながれを学ぶ」使命感. ながれ：日本流体力学会誌.
42(3):222-23